

オレゴン州：小麦作柄と気象状況

2010年7月4日現在

概況 オレゴン州の2010年7月4日に終る1週間の気象は、平年より低目の気温であったが温暖な乾燥気象であった。1週間の州平均農作業稼働日数は6.4日(前週:6.8日)となった。Willamette Valleyの最高気温は74~78度Fであり、1週間の降水量は0.04~0.26インチであった。NC地区の最高気温は前週と略同じ84~91度Fであったが例年より低目であった。1週間の降水量は0.00~0.19インチであった。同地区の積算降水量は例年の109~125%であった。冬小麦は完熟期となり一部で収穫が始まった。今後は高温を必要とする時期であった。NC地区の冬小麦の収穫の最盛期は7月20日頃と予想された。春小麦は昨年より1週間遅れであるが78%が出穂し、麦は青々としている。NC地区の冬小麦の作柄は過去30年で最高の作柄と報告された。NC地区ではClub小麦の作付けが昨年の倍と言われる。温暖・乾燥気象は冬小麦の作柄を上げた。春小麦も穏やかな気温と適度の土壌水分により“Poor”の評価は無くなった。2010年6月1日付けUSDAの2010年産冬小麦の生産量予想では、オレゴン州の冬小麦の単位収量は5月1日予想より3.0 bushels増え62.0 bushels/acre(約4,218 kg/Ha)であった。収穫予想面積も昨年より増えており、生産量は昨年より22%増の51,460,000 bushels(約140万トン)と予想された。

土壌水分(*)

(%)	Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil	2	15	68	15
Last week	1	8	75	16
Subsoil	3	11	75	11
Last week	1	12	70	17

冬小麦の生育状況(*)

(%)	This week	Last week	Last year	5-Yr. Average
Harvested	1	-	1	3

冬小麦の作柄状況(*)

(%)	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week	1	1	20	61	17
Last week	1	6	21	57	15

春小麦の生育状況(*)

(%)	This week	Last week	Last year	5-Yr. Average
Headed	78	75	91	91

春小麦の作柄状況(*)

(%)	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week	0	5	26	53	16
Last week	1	6	21	57	15

*) Source: National Agricultural Statistic Service, USDA-Oregon Field Office. 5-yr average means average of 2005,2006,2007,2008 and 2009 crop years.

2010年6月1日付けUSDA冬小麦生産量予想

State	Area Harvested 1,000 acres		Yield Bushels/acre			Production 1,000 bushels	
	2009	2010	2009	2010		2009	2010
				May 1	June 1		
Oregon	750	830	56.0	59.0	62.0	42,000	51,460
USA	34,485	31,786	44.2	45.9	46.6	1,522,718	1,482,364

以上